

## 実践事例2 小学校第5学年 「日本の工業には、どんな特色があるの」

### 単元について

- 学習指導要領の内容(3)「我が国の工業生産について、『様々な工業製品が国民生活を支えていること』や『我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など』、『工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える運輸などの働き』を調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする」ことをねらう。  
これを受け、我が国の各種の工業生産やその特色について追究させる際、工業生産の現状から自分たちの住んでいる有田町と対比させて考えさせる活動を取り入れる。有田町の陶磁器(有田焼)製造業(以下、有田焼生産)を具体的な工業生産の事例として「意思決定を取り入れた討論型の学習」を行う。これにより、有田焼生産が基幹産業である有田町に住む児童が、日本の工業生産を身近な事象として捉え、我が国の工業生産が国民の生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えようとする意欲を高めることが期待できるとともに、日本の工業生産について深く考えることができることを考える。
- 児童は、社会科の学習が好きな理由として、知識を得ることやそのために調べることを挙げている。しかし、資料を基に考えたり、自分の考えを発言することに関しては、考え方や述べ方に困難さを感じているという理由から消極的な児童が多い。また、「有田町の工業といえば何か」という質問に対して焼き物と答えられた児童は、少数であった。
- 指導に当たっては、まず、学習問題Ⅰ「日本の工業には、どんな特色があるのだろうか」を設定する。次に、有田町の陶磁器販売額が減少している現状から、学習問題Ⅱ「これからの有田焼は、大量生産し、値段を安くすべきか」へと導いていく。このように、日本の工業生産の特色を学習したことを生かし、これからの有田焼生産の在り方を考えさせることを通して、日本の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについての考えを深めさせたい。

### 単元の目標

- 我が国の工業の特色について、身の回りの工業製品に関心を持ち、我が国で盛んな工業の種類、主な輸出入品、工業生産の盛んな地域などの資料を活用して調べ、日本や有田町の工業生産の現状や工業生産が抱えている問題点などが分かり、日本の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて考えるようにする。  
これまでに学習したことを踏まえた上で、これからの有田焼生産の在り方について考え、資料や論題を基にした議論の内容を根拠にして、自分の考えを適切に表現することができるようにする。

### 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の工業生産について関心を持ち、その特色について様々な観点から意欲的に調べている。</li> <li>○我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることやこれからの有田焼生産の発展を考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の工業生産の特色について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。</li> <li>○我が国の工業生産の特色や現状を国民生活と関連付けて、国民生活を支えている役割や有田焼生産の発展を考え適切に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図、統計、写真などの資料を活用して、日本や有田町の工業生産の現状や問題点について必要な情報を集め、読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の工業生産の特色や現状を理解している。</li> <li>○我が国の各種の工業生産や様々な工業製品が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解している。</li> </ul>

**単元の指導計画(全6時間)**

過程	主な学習活動	教師の指導・支援	時配
学習問題をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りの工業製品は、6つの種類に分けられることを知る。</li> <li>○日本の製造業の工場数や事業所数が減少していることを基に、日本の工業生産について、調べていきたいことを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業製品が6つの種類(金属・機械・化学・食料品・繊維・その他)に分けられることを知らせ、有田町の有田焼生産はどの工業に分けられるのかを考えさせる。</li> <li>○日本の製造業の工場数や事業所数が減少していることを提示し、日本の工業生産に対する関心をもたせる。</li> </ul>	1
<b>日本の工業には、どんな特色があるのだろうか。《学習問題Ⅰ》</b>			
調べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統計資料を読み取って、日本で特に盛んな工業生産や日本の主な輸出入品を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○円グラフや帯グラフの読み方を説明した後に、調べさせる。</li> <li>○それぞれの工業生産の割合だけでなく、従業員数や工場数の減少などにも目を向けさせる。</li> <li>○有田町の工業生産額や従業員数の半数程度は有田焼生産に関連があることを読み取らせる。</li> </ul>	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を基に、工業生産の盛んな地域がどのような場所に多いかについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業生産額が多い地域やその地域での盛んな工業生産を調べさせる。</li> <li>○複数の資料を基に、工業生産が盛んになる条件を考えさせる。</li> </ul>	1
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○優れた技術をもつ中小工場の事例を基に、中小工場の社会的役割を考えるとともに、中小工場の問題点を調べる。</li> <li>○日本のこれからの工業生産について考える。</li> <li>○学習問題Ⅰをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中小工場の数などに関する資料や優れた技術をもつ中小工場の事例を調べることを通して、中小工場が社会に必要なことを考えさせる。</li> <li>○「環境」に配慮した工業生産が求められてきていることに気付かせる。</li> <li>○学習問題Ⅰについて、盛んな工業生産など学習したことを中心にまとめさせる。</li> </ul>	1
考え・まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有田町の工業生産の現状について知り、これからの有田焼生産の在り方について考える。</li> <li>○学習問題Ⅱを設定し、意思決定1を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有田町の有田焼生産では、売り上げ、従業員数ともに減少している現状を知らせ、これからの有田焼生産の在り方について考えさせる。</li> <li>○児童の考えを基に、工業製品の質と価格の安さから社会的な問題に気付かせ、学習問題Ⅱへと導く。</li> </ul>	1 本時 (5/6)
<b>論題 これからの有田焼は、大量生産し、値段を安くすべきか。《学習問題Ⅱ》</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これからの有田焼生産の在り方について討論を行い、討論内容を基に自分の考えをまとめる。(意思決定2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習問題Ⅱについて、賛否両方の立場で意見を交流させることで、自分の考えを見直させ、これからの有田焼生産を発展させていく方法と自分にできることをまとめさせる。</li> </ul>	1

## 小学校5学年 「日本の工業には、どんな特色があるの」(本時の様子)

### 本時の目標

これまでに学習した日本や有田町の工業生産の現状を踏まえた上で、これからの有田焼生産の在り方について考え、自分の考えを適切に表現することができる。

### 本時の展開の概要(5/6)



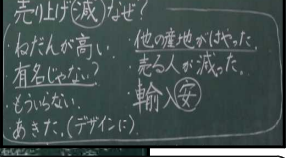
まず、有田町の陶磁器販売額が減少している事実から、これからの有田焼生産について考えさせるめあてをもたせた。次に、生産、販売、消費者の立場から有田焼の販売額が減少した理由を考えさせた。その際、工業製品の質を維持することと価格を安くすることが対立していることに気付かせ、今後どのような有田焼生産を目指せばよいのかを考えさせることで学習問題Ⅱへと導いた。最後に、学習問題Ⅱについて意思決定を迫った(意思決定1)。

### 本時に取り上げる社会的な問題【社会的な問題のパターン】

社会的な問題「有田町の主産業である陶磁器産業の販売額が減少していること」

【研究や論争の材料となる事件】

### 本時の様子

過程	主な学習活動	教師の指導・支援
導入	<p>○日本の工業生産の特色を振り返り、消費者の立場から工業製品を選ぶ観点について考える。</p>	<p>○車やシューズなどを買うときに、価格を中心に安全性や耐久性など何を大事にして選ぶかを考えさせることで、工業製品を売るには消費者の視点からも考える必要があり、人によって価値観が違うことに気付かせた。</p>
	<p>車は高くても安全な方がいいです。安くてこわれやすいと事故につながるかもしれないからです。</p> <p>シューズは高い方がいいです。長持ちするし、はきごごちがいいからです。</p>  <p>2つの価値を視覚的に整理した板書</p>	<p>シューズは安い方がいいです。はきごごちが悪くても、足はすぐに大きくなるからです。</p> <p>ゲーム機は、高くてもこわれないのいいです。茶わんは、われたらまた買えばいいので安い方がいいです。</p>
社会的な問題を	<p>○学習のめあてをもつ。</p>  <p>有田町の工業の中心は窯業だったね。このままだったらどうなると思う？</p> <p>電子黒板で提示した有田町の陶磁器販売額のグラフ</p>	<p>○有田焼の印象(値段が高い・きれい・技術が優れている)を押さえた上で、自分たちが買いたい湯飲み(値段が安い)とは違うことに気付かせた。</p> <p>○資料から、有田町の陶磁器販売額が減少していることを読み取らせ、これからの有田焼生産の在り方を考えようという意欲をもたせ、めあてを提示した。</p>
	<p>めあて これからの有田焼の生産について考えよう。</p> <p>○有田町の陶磁器販売額が減少した理由を考え、どのような有田焼生産を目指したらよいか考える。</p>  <p>こんな原因が考えられるんだね。これからの有田焼はどうしていったらいいと思う？</p>	<p>○有田町の陶磁器販売額が減少した理由を考えさせ、それを基に、どのような有田焼生産を目指していけばよいかを考えさせた。</p> <p>あざやかなデザインのデザインをもつ有田焼</p> <p>ねだ人を安くして、働ける人も増やす有田焼</p> <p>売る人が多くて、安い有田焼</p> <p>ワークシートの記述内容</p>

把握する	<p><b>社会的な問題</b> (研究や論争の材量となる事件)</p> <p>「有田町の主産業である陶磁器産業(有田焼生産)の販売額が減少していること」</p>	<p>○「値段をそのまま付加価値を付ける(工業製品の質を維持する)」、「大量生産をして値段を下げる(価格を安くする)」という2つの意見に整理し、学習問題Ⅱへと導いた。</p>				
	<p><b>論題</b> これからの有田焼は、大量生産し、ねだんを安くすべきか。《学習問題Ⅱ》</p>	<p>○学習問題Ⅱについての意思決定を行い、ワークシートに記入する。(意思決定1)</p> <p>○学習問題Ⅱについて、次時に討論を行うことを課題としてもつ。</p>	<p>○これまでに学習した日本や有田町の工業の現状を踏まえた上で、これからの有田焼生産の在り方についてワークシートに記述させた。</p> <p style="text-align: right;"><b>【評価】</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">賛成 それはねだんを安くすれば、たくさんの人が買うと思うし、売り上げ額が上がると思うからです。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">私は賛成です。理由はお金の持ち手はいいは安い方がいいし、大量生産したらいい焼物をかてるからです。</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">反対 それは大量せい産したら有田焼のくながなくなってしまうからぼくは反対です。</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">反対 高いねだんも工夫をすれば、もてがいをよくしたら売れると思うからです。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">意思決定1 ワークシートの記述内容</p> <p>○学習問題Ⅱについての意思決定が、賛否両方の意見があることに気付かせることで、意見を交流させる意欲をもたせた。</p>	賛成 それはねだんを安くすれば、たくさんの人が買うと思うし、売り上げ額が上がると思うからです。	私は賛成です。理由はお金の持ち手はいいは安い方がいいし、大量生産したらいい焼物をかてるからです。	反対 それは大量せい産したら有田焼のくながなくなってしまうからぼくは反対です。
賛成 それはねだんを安くすれば、たくさんの人が買うと思うし、売り上げ額が上がると思うからです。	私は賛成です。理由はお金の持ち手はいいは安い方がいいし、大量生産したらいい焼物をかてるからです。					
反対 それは大量せい産したら有田焼のくながなくなってしまうからぼくは反対です。	反対 高いねだんも工夫をすれば、もてがいをよくしたら売れると思うからです。					

## 実践を終えて

### 【成果】

- 日本の工業生産の特色などを学習する中で、児童の住む有田町の工業生産を具体例として挙げることで、児童の学習問題を解決しようとする意欲を高めることができました。また、児童に、今後どのような有田焼生産を目指したらよいかを考えさせ、発言を「値段はそのまま付加価値を付ける」と「大量生産して値段を下げる」の2つにまとめることで対立点を明確にし、学習問題Ⅱへと導くことができました。
- 質が高い製品(値段が高い)と質があまりよくない製品(値段が安い)との比較から、消費者のニーズやその個人による違いについて捉えさせる際、児童の意見を視覚的に分かりやすくまとめ、板書を工夫することができました。また、そのことが、どのような有田焼生産を目指せばよいかを考える際の手助けとなりました。

### 【課題】

- 第5学年の我が国の工業生産について学習する中で、発展的な内容として伝統的な工業生産である有田焼生産を取り上げましたが、「学習指導要領第3学年及び第4学年の目標と内容」と「学習指導要領第5学年の目標と内容」を照らし合わせ、第5学年のねらいに沿うよう単元計画を工夫する必要があります。